

鵜川っ子 読書っ子

能登町立鵜川小学校図書室 H28 7月発行№4



いよいよ夏休み!



暑い夏がきましたね! せみが元気に鳴きはじめましたが、その声に負けずに学校生活がんばっている鵜川っ子のみなさん。いよいよ夏休みです! やりたいことも、しなきゃいけないことも、たくさんあるのが夏休み! 楽しい夏休みにしましょうね。

加夢加夢おはなし会

7月15日(木)に能登町の読み聞かせボランティア「加夢加夢おはなし会」の方が来校されました。みんな静かに話を聴きとても素敵な時間になりました。



さあ始めますよ...



真剣!



大きな本にびっくり!

<子どもたちの声>

- ・ドキドキした。おもしろかった。(1年生)
- ・大きい本があってびっくりした。(2年生)
- ・「ありがとう、フォルカー先生」の話が良かった。学校でも借りようと思った。また聞きたい(5年生)
- ・また、鵜川小学校に来てほしいと思った。(6年生)

今日のお話は...
紙芝居「まことくんとおかし」
絵本「ありがとう、フォルカー先生」
「へいわってどんなこと?」
図書室にも入ってます。ぜひ、読んでみましょう!

みんな集まって聴いているね!
コンセルの図書館でも毎月
読み聞かせをやっています。
行ってみよう!



本がもっと好きになる!

読書感想文の書き方

本を読んで理解しよう!

どこが1番おもしろかった?

読みたい本が決まったらさっそく読んでみましょう。感想文には本を読んで1番心が動かされたことを書きます。できればメモをしておくといいでしょう。あなたはどんな場面で「おもしろい」「かなしい」「あこがれ」...を感じるのか。それらが、感想文のタネとなります。

読み返して理解をふかめよう

気になるところを立ち止まって読みながら、しおりや付せんを使ってマークしていきましょう。おもしろいところ、かなしいところ、腹がたつところ、シーンときて涙が出そうになったところ、自分にも似たような経験のあるところ、よく分からないところ、だれかに伝えたいと思った事、気に入った文章...どんどんマークしてみましょう。

マークをしたところを中心に読んで自分の考えをたしかめましょう。

題名のつけ方と結び

感想文の題名で多いのは「〇〇を読んで」というもの。たしかに感想文だという事は分かりませんが、もっと個性的な題名を考えてみてください。題名は自分の書いた感想文をひとことで表す大切なものです。題名からどんな感想文なのか伝わる様に工夫しましょう。

その本を読んで自分の考えが変わった点など、自然に自分の思った事を表してみましょう。

上手な感想文よりもよい感想文をめざそう

「読書感想文を書きましょう」と言われた時、上手に書かなければならないときばりすぎではありませんか?

上手に書こうと思わなくてもいいのです。上手な感想文よりもよい感想文をめざしましょう。よい感想文とは本を読んで感動したことを素直に自分の言葉で書いたものです。

~夏休みの貸出冊数~
夏休みの貸出冊数は1人5冊です。
登校日にも本の貸出しをしていますよ!
期限を守りたくさん本を読みましょう。
楽しい夏休みを...

2学期、
みんなに会えるのを
楽しみにしてるよ!

